



木簡研究 第一四号

卷頭言

八木 充

一九九一年出土の木簡

概要 平城宮跡 平城京左京二条二坊坊間路西側溝 平城京東市跡
推定地 唐招提寺 藤原京跡 飛鳥池遺跡 四条遺跡 長岡京跡(1)
長岡京跡(2) 長岡京跡(3) 遠所遺跡 木津川河床遺跡 大坂城跡
住友銅吹所跡 桑津遺跡 竜華寺跡 高槻城跡 堺環濠都市遺跡
屏風遺跡 長田神社境内遺跡 宅原遺跡 袴狭遺跡(1) 袴狭遺跡(2)
(旧坪井遺跡) 光明寺遺跡 西河原森ノ内遺跡 西河原遺跡 湯ノ
部遺跡 石川条里遺跡 内匠日向周地遺跡 小茶円遺跡 富沢遺跡
多賀城跡 円福寺遺跡 田道町遺跡C地点 上荒屋遺跡 山田郷内
遺跡 稻城遺跡 吉野口(鯉山小)遺跡 三日市遺跡 長登銅山跡
空港跡地遺跡(第3工区) 雀居遺跡 興善町遺跡
一九七七年以前出土の木簡(一四)
平城宮跡(第五〇・五一・五二・六三次) 上田部遺跡
郡家今城遺跡 郡家川西遺跡 じょうべのま遺跡 高瀬遺跡
考古資料としての古代木簡
八幡林遺跡等新潟県内出土の木簡
木上と片岡
下級国司の任用と交通―二条大路木簡を手がかりに―
「敦煌漢簡」研究の現状と課題
彙報

頒価 四五〇〇円 千五〇〇円